

第 103 回規格会議

3月24日（金）に、第103回規格会議が東海大学校友会館（霞が関ビル）において開催されました。今回は標準規格の改定8件、技術資料の改定7件が提案のとおり決議されました。本規格会議において決議された議案の概要は以下のとおりです。



第 103 回規格会議の様子

第 103 回規格会議 標準規格及び技術資料の改定の概要

No.	規格番号	規格名等	概要
1	ARIB STD-T63 Ver.12.30	IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB STANDARD	<p>本標準規格は、いわゆる第3世代携帯電話システムである IMT-2000 システムに関する標準規格の内の IMT-2000 DS-CDMA 及び TDD-CDMA システムに関するものであり、第102回規格会議（平成28年12月開催）において平成28年9月までに 3GPP が更新したリリース 8 からリリース 13 までの標準規格を基に Ver.12.20 へ改定された。</p> <p>今回の改定は、その後平成28年12月までに 3GPP が更新したリリース 8 からリリース 13 までの標準規格を反映するものである。</p>
2	ARIB TR-T12 Ver.12.30	IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB Technical Report	<p>本技術資料は、いわゆる第3世代携帯電話システムである IMT-2000 システムに関する標準規格の内の IMT-2000 DS-CDMA 及び TDD-CDMA システムに関するものであり、第102回規格会議（平成28年12月開催）において平成28年9月までに 3GPP が更新したリリース 8 からリリース 13 までの技術資料を基に Ver.12.20 へ改定された。</p> <p>今回の改定は、その後平成28年12月までに 3GPP が更新したリリース 8 からリリース 13 までの技術資料を反映するものである。</p>

No.	規格番号	規格名等	概要
3	ARIB STD-T104 Ver.4.30	LTE-Advanced System ARIB STANDARD	<p>本標準規格は、いわゆる第4世代携帯電話システムであるIMT-Advancedシステムに関する2つの標準規格の内の1つであるLTE-Advancedシステムに関するものであり、第102回規格会議（平成28年12月開催）において平成28年9月までに3GPPが更新したリリース10からリリース13までの標準規格を基にVer.4.20へ改定された。</p> <p>今回の改定は、その後平成28年12月までに3GPPが更新したリリース10からリリース13までの標準規格を反映するものである。</p>
4	ARIB TR-T19 Ver.4.30	LTE-Advanced System ARIB Technical Report	<p>本技術資料は、いわゆる第4世代携帯電話システムであるIMT-Advancedシステムに関する2つの標準規格の内の1つであるLTE-Advancedシステムに関するものであり、第102回規格会議（平成28年12月開催）において平成28年9月までに3GPPが更新したリリース10からリリース13までの技術資料を基に、Ver.4.20として新たに策定された。</p> <p>今回の改定は、その後平成28年12月までに3GPPが更新したリリース10からリリース13までの技術資料を反映するものである。</p>
5	ARIB STD-T111 1.1版	79GHz帯高分解能 レーダー標準規格	<p>本標準規格は、電波法施行規則第6条第4項第2号に基づく特定小電力無線局のうち無線標定業務を行う無線設備に関するものであり、車両から歩行者や自転車等の小さな対象物を高分解能で検知する79GHz帯高分解能レーダーについて規定したものである。</p> <p>今回の改定は、2015年11月に開催された世界無線通信会議(WRC-15)における議題1.18「79GHz帯における無線標定業務への一次分配」の審議結果を受け、総務省が実施した79GHz帯高分解能レーダーに使用する周波数の拡大に係る制度整備に対応し、所要の改定を行なうものである。具体的には、78.0GHzから81.0GHzであった指定周波数帯を77.0GHzから81.0GHzまでに拡張するものである。</p>
6	ARIB STD-B10 5.10版	デジタル放送に使用する番組配列情報標準規格	<p>本標準規格は、デジタル放送の番組配列情報の構成、データ構造及び識別子の運用基準について規定したものである。</p> <p>今回の改定は、(一社)放送サービス高度化推進協会(A-PAB)からの申請に基づき、高度広帯域衛星デジタル放送で使用される限定受信方式の識別子が新たに割り当てられたことに伴い、これを追記するとともに、誤記の訂正及び参考文献の更新を行うものである。</p>

No.	規格番号	規格名等	概要
7	ARIB STD-B60 1.9 版	デジタル放送における MMT によるメディアトランスポート方式標準規格	<p>本標準規格は、デジタル放送における MMT による映像、音声、データ等のトランスポート方式を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、(一社) 放送サービス高度化推進協会 (A-PAB) からの申請に基づき、高度広帯域衛星デジタル放送で使用される限定受信方式の識別子が新たに割当られたことに伴い、これを追記するとともに、参照先の変更及び誤記を訂正するものである。</p>
8	ARIB STD-B61 1.3 版	デジタル放送におけるアクセス制御方式(第 2 世代)及び CAS プログラムのダウンロード方式標準規格	<p>本標準規格は、11.7GHz～12.2GHz の周波数帯の衛星基幹放送局が行う超高精細度テレビジョン放送等、並びに 12.2GHz～12.75GHz の周波数帯の衛星基幹放送局が行う帯域幅 34.5MHz の超高精細度テレビジョン放送等に適用する「デジタル放送における第 2 世代のアクセス制御方式」及び「CAS プログラムのダウンロード方式」を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、アクセス制御方式(第 2 世代)のうち限定受信方式に関して、EMM 個別メッセージのメッセージコード領域等の明確化を行う他、誤記訂正を行うものである。</p> <p>CAS : Conditional Access System EMM : Entitlement Management Message</p>
9	ARIB TR-B15 7.3 版	BS/広帯域 CS デジタル放送運用規定技術資料	<p>本技術資料は、BS デジタル放送の放送局及び広帯域 CS デジタル放送の放送局での運用並びに BS デジタル放送受信機及び BS・広帯域 CS デジタル放送の共用受信機の機能仕様をとりまとめたものである。</p> <p>今回の改定は、BS 委託放送事業者 (株) BS ジャパンの HDTV サービスと SDTV サービスのマルチ編成放送導入に伴い衛星基幹放送業務認定証が変更 (2016 年 10 月) されたことから、事業者毎スロット割り当て一覧表におけるサービス内容の変更を行うものである。</p>
10	ARIB TR-B38 1.1 版	VHF-Low 帯に適用するセグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送運用規定技術資料	<p>本技術資料は、99MHz を超え 108MHz 以下の周波数の電波 (VHF-Low 帯) を使用する地上基幹放送局を用いて行うセグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送 (以下、V-Low マルチメディア放送) についての運用を規定するものであり、V-Low マルチメディア放送の円滑な運用に資することを目的としたものである。</p> <p>今回の改定は、移動体環境下における受信率向上のためのパラメータとして運用時間インターリーブ長 I=8 の追加、防災・安全情報を確実に受信させるための伝送方法の追加、チャンネル数増加時の帯域有効利用のための再送周期の変更及び認定基幹放送事業者の追加である。</p>

No.	規格番号	規格名等	概要
11	ARIB TR-B39 1.3 版	高度広帯域衛星デジ タル放送運用規定技 術資料	<p>本技術資料は、高度広帯域衛星デジタル放送の伝送方式による超高精細度テレビジョン放送の放送局での運用および受信機の機能仕様に関し規定したものである。</p> <p>今回の改定は、将来を見据えた高度広帯域 CS デジタル放送の最大サービス数見直しに伴う改定、セキュリティ通信時の受信機表示の明確化、自動表示メッセージの即時表示に関する明確化、MPU タイムスタンプの運用に関する明確化等である。</p> <p>MPU : Media Processing Unit</p>
12	ARIB STD-B69 1.1 版	デジタルテレビジョン放送におけるデジタル字幕ファイル交換フォーマット(第2世代)標準規格	<p>本標準規格は、STD-B62「デジタル放送におけるマルチメディア符号化方式(第2世代)」で規定される字幕放送方式に対応した字幕ファイルの交換フォーマットについて規定するものである。</p> <p>今回の改定は、ARIB-TTML 字幕の望ましい記述例や HDTV へのダウンコンバートを考慮した字幕表示領域を示すことで字幕ファイルの交換をより確実にするために行うものである。</p>
13	ARIB TR-B30 1.3 版	5.1ch サラウンド番組の制作技術ガイドライン技術資料	<p>本技術資料は、5.1ch サラウンドサウンド番組制作についての技術要件について策定されたものである。</p> <p>今回の改定は、モニタースピーカの再生レベルの調整法の適正化を図るものである。日常行う騒音計を用いたオールパス値の調整法と、オクターブバンド分析器を用いた厳密なバンドレベルの調整法の関係を明確化するとともに、モニタースピーカの再生レベルを測定するときの測定マイクロホンの設置向きの適正化を行った。</p> <p>なお、今回の改定により、三次元マルチチャンネル音響方式スタジオ規格の再生レベル調整手法及びマイクロホン設置手法と同様となった。この他、誤植の修正や関連文書の追加を行った。</p>
14	ARIB TR-B37 1.1 版	超高精細度テレビジョン方式カメラ・レンズ機器の相互接続技術資料	<p>本技術資料は、超高精細度テレビジョン(UHDTV)方式のカメラとレンズ機器の相互接続についてガイドラインを示すものである。</p> <p>スーパー35mm8K センサー、1.25 型 8K センサー及び 2/3 型 4K センサーそれぞれの対応するカメラとレンズを接続するための光学系、電気系およびメカニカルインタフェースについて適用する。</p> <p>今回の改定は、スーパー35mm8K センサーのメカニカルインタフェースについて、レンズおよびカメラ側のマウントの詳細仕様が明確になったため、図面を追加するものである。レンズ側マウントについては前面図および側面図を追加し、カメラ側マウントについては全体構成と構成部品であ</p>

No.	規格番号	規格名等	概要
			<p>る位置決めピン、マウントレバー、ねじ込みフランジおよびバヨネットリングについて追加する。またカメラ内部の不可侵領域の図面についても併せて追加する。</p>
15	ARIB STD-B43 2.0 版	テレビジョン放送番組素材伝送用可搬形ミリ波帯デジタル無線伝送システム標準規格	<p>本標準規格はテレビジョン放送番組素材伝送用の可搬形無線伝送機器である FPU のうち 42GHz 帯及び 55GHz 帯を使用するミリ波帯デジタル無線伝送システムについて規定するものである。</p> <p>今回の改定は、125MHz システムにおいて、入力信号の分割と並列処理による高速化やフルモードへの MIMO-OFDM 方式の導入等によって、4K・8K 放送番組素材の伝送を可能とするもので、最大ビットレート等の技術仕様に関連する事項の変更及びメーカー間互換性規定に関連する事項の変更を行うほか、回線設計例に関連する事項の追記を行うものである。</p> <p>FPU : Field Pick-up Unit OFDM : Orthogonal Frequency Division Multiplexing MIMO : Multiple-Input Multiple-Output</p>